

## 南アフリカの金利引き上げについて

2015年7月24日

7月23日（現地時間）、南アフリカ準備銀行（中央銀行）は、政策金利を0.25%引き上げ6.00%にすることを決定しました。今回の利上げを予想していた市場関係者も多く、南アフリカ・ランドは比較的落ち着いた動きとなっています。

## 《利上げ決定に至った経緯について》

今回の利上げは、今後予想されるインフレに対応した措置とみられています。6月のインフレ率は4.7%と同国がターゲットとしている3～6%のレンジ内に収まっていますが、準備銀行の見通しによれば今後は加速し、2016年前半には同レンジの上限を超えて推移するとしています。米国では年内に利上げ開始が予想されていること、足元では商品価格が軟調に推移しており、同国の主要鉱産資源である金やプラチナ価格が7月に入り下げ足を速めていることなどが、南アフリカ・ランドの弱気材料として挙げられます。

準備銀行は、以上の見通しのもとでインフレ率の加速に対して警戒感があることや自国通貨安対策にもなることから、昨年7月以来、約1年ぶりとなる利上げを決定しました。

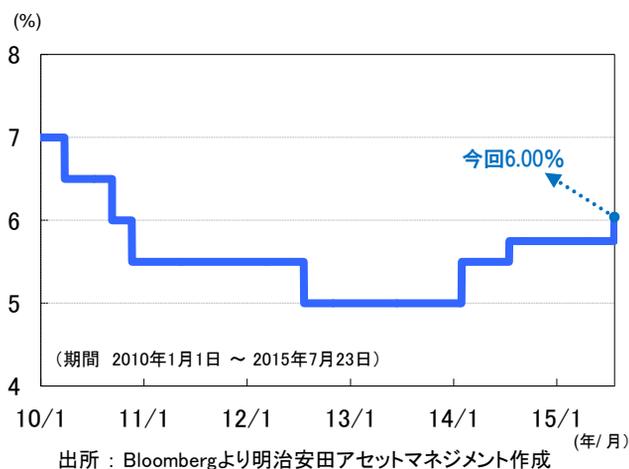
## 《今後の景気、為替レートについて》

南アフリカでは、1～3月期の経済成長率は前期から減速し、足元では製造業PMIが景況判断の節目とされる50を上回っているものの企業景況感は弱く、消費者信頼感は落ち込んでいます。こうしたことを踏まえ、準備銀行は4～6月期の経済成長も緩やかなものにとどまり、2017年にはやや上向くとみえますが、下振れリスクに警戒しています。失業率が高水準を続ける中、今後は労働争議の経済活動への影響も懸念されます。

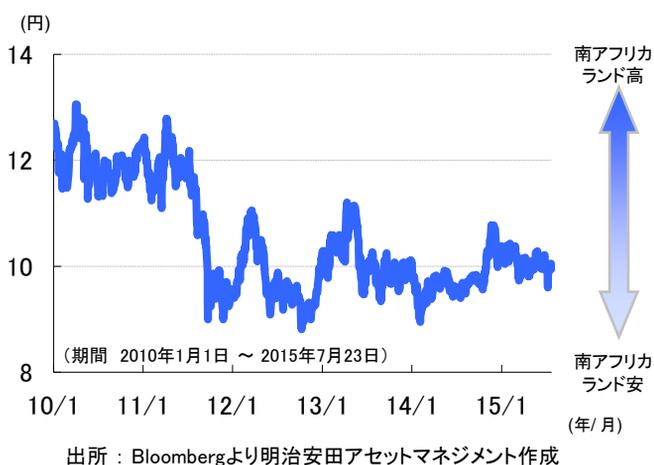
以上のような経済環境下での今回の利上げを0.25%と小幅にとどめたことから、準備銀行のインフレ見通しに基づいた予防的な措置とも考えられ、今後の金融政策についてもインフレ対策を重視しつつも景気動向に配慮した運営が続けられるとみえています。

南アフリカ・ランドは、足元では米国の利上げ開始や貴金属価格の下落など通貨安材料があります。しかしながら、米国の利上げペースについては緩やかなものにとどまるとみられ、相対的な金利水準の高さは維持されると考えられることから、調整一巡後は底堅く推移するとみえています。ただし、景気動向次第では調整局面が長引く可能性もあり、当社でも引き続き同国に関わる市況動向を注視してまいります。

## 《南アフリカの政策金利の推移》



## 《南アフリカ・ランドの対円推移》



- 当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。
- 投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。